動作試験のしかた

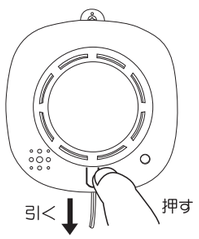
この試験は煙感知部と警報音の動作を確認する試験です。

⚠警 告	試験は高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。
下記の要領で1カ月に1回、および1週間以上留守にされた時、正常に動作するか動作試験を行ってください。

①押しボタンを押す。または、引きひもを引っ張る。
②警報音（ピィー、ピィー）が鳴り、動作表示灯が点灯することを確認する。
③警報が鳴り動作表示灯が点灯すれば正常です。

警報音が鳴らない場合は『6. 故障かと思ったら』をお読みください。



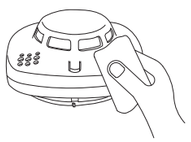
押す
（または引きひもを引っ張る）

5. お手入れのしかた

煙感知部表面にホコリやくもの巣がつくと、煙を感知しにくくなります。警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。

⚠警 告	お手入れは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

・年に1回は布で煙感知部のホコリやくもの巣を取り除いてください。



・表面の汚れは、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
※ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。

・お手入れ後は『 4. 使用方法 動作試験のしかた 』の通りに動作試験をしてください。
・電池の交換時期は、通常の使用状態で約１年です。
電池が消耗すると警報器が約40秒間隔で「ピッ」と鳴りますので新しい電池と交換してください。

6. 故障かと思ったら

・試験などで故障と思った時、修理、サービス依頼される前に、下表に従って点検および処置をしてください。

状　態	点　検	処　置
火災の煙でないのに警報動作する。	警報器の近くで調理の煙や蒸気が滞留していないか？	煙、蒸気などを取り除く。
	くん煙式殺虫剤やスプレー式殺虫剤を使っていないか？	窓やドアを開け換気する。
押しボタン、引きひもを操作しても警報動作しない。	電池の取り付けが間違っていないか？	「2 、電池の取り扱い」に従い正しく電池を取り付ける。
警報器が約40秒間隔で「ピッ」と鳴る。	ー	電池が消耗しています。「2 、電池の取り扱い」に従い電池を交換してください。
押しボタン、引きひもを操作しても、煙を入れても警報動作しない。	ー	警報器の故障が考えられます、お買い求めの販売店までご連絡ください。 なお、押しボタン、引きひもを操作しますと、約６分間は煙により動作しません。
新しい電池に交換しても、警報器が約40秒間隔で「ピッ」と鳴る。		
警報器の警報音が鳴りやまない。	煙感知部がホコリなどで汚れていないか？	煙感知部内部がホコリなどで汚れていることが考えられます、電池を取り外し警報を止め、お買い求めの販売店までご連絡ください。

※上記の処理を行っても解決しない場合は販売店までご連絡ください。

7. アフターサービス

1．保証書
保証書はパッケージ台紙の裏面に付いております。保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

2．保証期間中に修理を依頼される場合
保証期間はお買い上げ日から１年間です。
取扱説明書「6、故障かと思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、お求めになった販売店へ修理をご依頼ください。

・修理依頼される時に必要な内容
◆ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号
お買い上げ日・異常内容

3．アフターサービスについてのお問い合わせ
保証期間中の修理などアフターサービスについて不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。

8. 廃棄する場合

「2 電池の取り扱い」に従い電池を取り外してください。

廃棄する場合は電池を取り外し分別廃棄をお願いします。本警報器に使用の電池は、「一次電池」ですので一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は、各自治体の基準に従ってください。

ホーチキ

住宅用火災警報器（ハイガード）

煙感知式（光電式）
商品記号 ＳＳ－２ＬＧ

取扱説明書

日本消防検定協会鑑定合格品

使って納得！
安心機能がイッパイ！

・火災時に発生する煙を素早くキャッチします。
・大きな音で火災をお知らせします。
・ワンタッチで動作試験が行えます。
・電池の交換時期を音でお知らせします。
・取付ネジで天井でも壁面にも取り付け簡単。
・引掛フックで簡単に取り付けられます。
・電池式なので、面倒な配線はいりません。
・オプションでブザーを増設できます。

● このたびは、本警報器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
● お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、内容をよくご理解ください。
● 本書（取扱説明書）および保証書は取り付け後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。
● この警報器は、火災による煙を感知して作動するものです。火災を防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

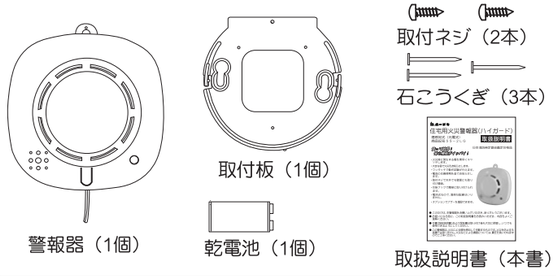
警報器をご使用になる前に

警報器を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

⚠警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを表しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害が想定される場合を表しています。
	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」を示しています。
	「必ずおこなう」事項を示しています。

商品のご確認



2-8-000-1194-154

ご使用上の注意

⚠警 告

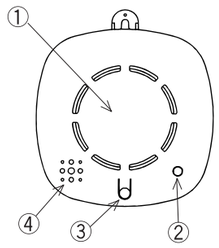
・警報器は絶対に分解しないでください。

・警報器を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

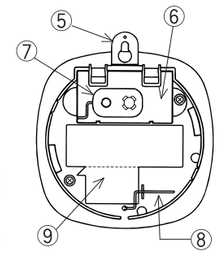
⚠注 意

・この警報器は煙を感知して作動する物です、火災の防止装置ではありません。
・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた時は、他の部屋で発生した火災による煙が警報器までとどかず作動しない場合があります。
・火災時の煙は上昇するため、２階で発生した火災を１階に取り付けた警報器で感知することはできません。
・警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
・殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む）、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報器が作動することがありますが、しばらくすると鳴りやみます。（押しボタンまたは、引きひもの操作により警報を一時停止することもできます。）
・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
・この警報器は、火災以外の煙（調理による煙、湯気、浴室からの湯気、たばこの煙など）により作動することがあります。

1. 各部のなまえとはたらき



①煙感知部
・ここで煙を感知します。
②動作表示灯
・火災時に点灯します。
③押しボタン（警報停止・動作試験用）
・『4. 使用方法 警報を止めるとき 動作試験のしかた 』を参照してください。
④音響孔
・ここから警報が出ます。
⑤引掛フック（壁面取り付け用）
⑥電池収納部
⑦電池スナップ
⑧引きひも（警報停止・動作試験用）
・『4. 使用方法 警報を止めるとき 動作試験のしかた 』を参照してください。
・ご使用の際は延長用のひもを継ぎ足してご使用ください。
・引きひもはご使用にならない場合、警報器裏面に止めておくことができます。ひもを固定する際はゆるめに固定してください。引かれた状態で固定すると、動作試験状態となり警報音が鳴ってしまいます。



⑨ここを切り取るとオプションの移報コネクタが取り付けられます。 移報コネクタにより増設ブザーなどの外部装置が接続できます。（移報コネクタについては、弊社までお問い合せください。）

2. 電池の取り扱い

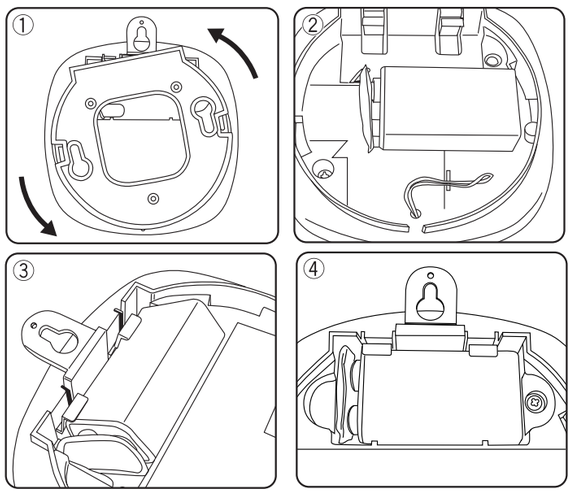
⚠注意	電池は当社指定の物をご使用ください、指定以外の物を使用した場合、接触不良により動作しない、電池寿命が短くなる、など不具合を生じる可能性があります。

指定電池：FDK株式会社
６Ｆ２２(ＵＣ)マンガン乾電池

電池交換の目安は通常の使用状態で約１年です。電池が消耗すると警報が約４０秒間隔で「ピッ」と鳴り続けます（約１週間）そのあいだに新しい電池と交換してください。
※付属の乾電池は、動作確認用であり寿命が通常よりも短いことがあります。
また、古くなった電池をそのまま入れた状態にすると、液漏れを起こし機器を破損する恐れがあります。
電池は低温になると性能が低下し、寿命が短くなる特性を持っています。そのため低温時には電池切れ警報が鳴りやすくなります。その場合も電池を交換してください。

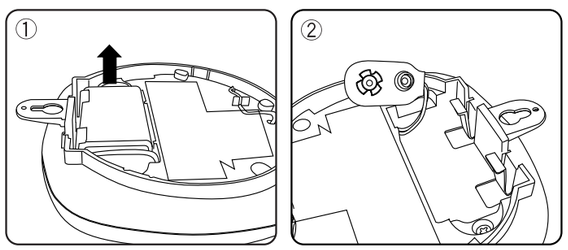
電池の取り付け

電池の取り付けは、次の手順で行ってください。
①取付板を左に回して外し、付属品を取り出す。付属品を取り出す際は、ネジ、石こうくぎの先端に注意してください。
②極性を合わせ電池スナップに電池を取り付けてください。
③電池収納部固定用ツメを壊さないよう、下側から電池が斜めになるよう入れてください。
④その後全体を入れてください。
⑤電池の取り付け後に『4. 使用方法 動作試験のしかた 』の通りに動作試験をしてください。



電池の取り外し

電池の取り外しは、次の手順で行ってください。
①電池を垂直に引き抜いてください。
②電池スナップをはずしてください。



3. 警報器の取り付け

⚠警告	取り付けは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

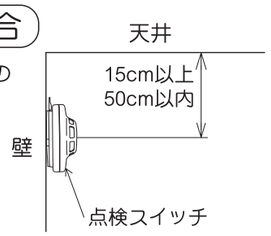
警報器は必ず正しい場所に取り付けてください。
誤った位置に取り付けると火災による煙を正常に感知できなかったり、誤作動の原因となります。

取り付け場所

1.この警報器は特に次のようなところへの設置をおすすめします。
・寝室…特にお年寄り、小さなお子様やご病気の方がお休みになっている部屋。
・階段や廊下
2.警報器の取り付け位置。
・警報器の押しボタン、引きひもが操作しやすい位置に取り付けてください。

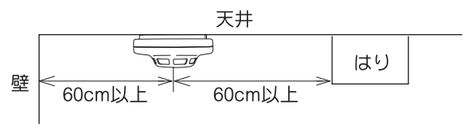
壁面に取り付ける場合

天井面下15cmから50cmまでの範囲に取り付けてください。



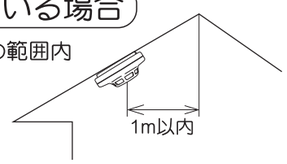
天井面に取り付ける場合

壁から60cm以上離した位置に取り付けてください。
また、はりからは60cm以上離した位置に取り付けてください。



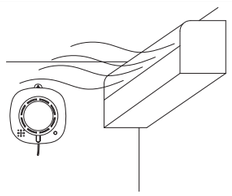
天井が斜めになっている場合

天井の一番高い位置から1mの範囲内に取り付けてください。

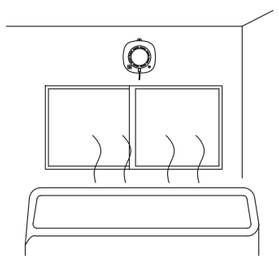


⚠注意	次のような場所には取り付けないでください。火災による煙を正常に感知できず、誤作動や故障の原因となります。

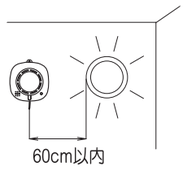
・エアコンなど空気の吹き出しの近くは煙が流されて作動しなかったり、ホコリやチリが煙感知部に入り、誤動作し易くなる恐れがあります。



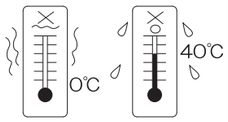
・浴室など水や蒸気のかかる場所や結露する場所。



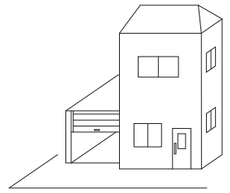
・照明器具から60cm以内の場所。



・取り付け場所の温度が0℃を下回る場所、または40℃を超える場所。特に低温では、電池寿命が短くなります。



・火災以外の煙や蒸気がかかる場所
車庫など



・屋外（屋内専用です）

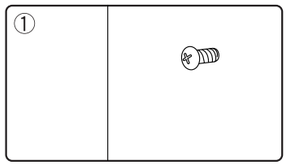
取り付け方法

壁面への取り付け

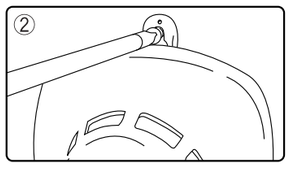
（引掛フックを使用した取り付け）

※引掛フックを使用する場合は、取付板を取り外してください。

①取付面の補強材などが通っている丈夫な場所に、付属のネジ１本を途中までねじ込んでください。



②警報器の上部にあるフックの孔部分をネジに掛け、さらにネジを締め込んでください。

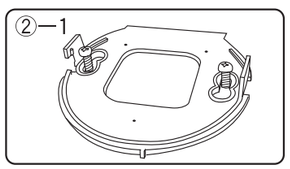


（取付板を使用した取り付け）

①取付板を使用する場合、警報器上部のフックは使用しません。フック部分は簡単に折れる構造になっていますので必要に応じて折ってご使用ください。

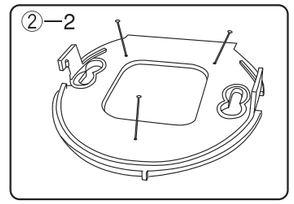
（取付ネジを使用する場合）

②−1取付面の補強材などが通っている平坦で丈夫な場所に、付属のネジ２本で取付板をしっかりと固定してください。

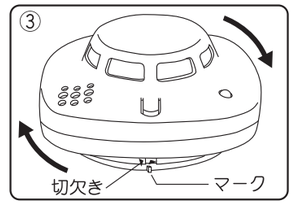


（石こうくぎを使用する場合）

②−2取付面の平坦な場所に、付属の石こうくぎ３本で取付板をしっかりと固定してください。石こうくぎを打ち込む際は、図のように斜めに打ち込むとしっかり固定できます。



③取付板のマークと警報器下部の切り欠きが合うように重ね、警報器が止まるまで右に回してください。警報器を取り外す場合には、警報器が止まるまで左に回してください。



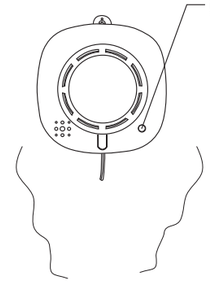
天井面への取り付け

天井面に警報器を取り付ける場合は、前記（壁面への取り付け）の取付板・取付ネジを使用した取り付け方法を参照してください。

4. 使用方法

火災の場合

火災による煙が発生した場合



・火災警報器の周囲に煙が発生した場合、動作表示灯が点灯し警報音が「ピィー・ピィー・ピィー」と鳴ります。
・火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。
・火災の状況に応じて避難してください。

警報を止めるとき

・煙が無くなれば警報音は自動的に停止します。また、動作表示灯は消灯します。
・押しボタン、または引きひもを操作し手を離すと警報音が停止します。また、動作表示灯は消灯します。
煙が残っている場合は、約6分後に再び警報音が鳴り、動作表示灯が点灯します。
※音響停止中に時々「カチッ」となることがありますが、故障ではありません。

火災でない場合

⚠注意	火災以外でも次のような場合作動することがあります。室内の換気をするか警報音を止めて、警報器や電池をなるべく取り外さないでください。

・スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接かかった時。
・たばこの煙を警報器に吹きかけた時。
・調理の煙や水蒸気などが警報器にかかった時。
・くん煙式殺虫剤などの煙を発生させた時。